

令和3年（2021年）の噴火浅根の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○噴火警報・予報の状況、2021年の発表履歴

| | |
|------------|-------------------|
| 2021年中変更なし | 噴火予報（活火山であることに留意） |
|------------|-------------------|

○2021年の活動概況（図1、図2）

8月5日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、薄い青白色の変色水域が認められました。

7月9日及び11月11日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、変色水域等の特異事象は認められませんでした。

海上保安庁及び海上自衛隊によるこれまでの観測によると、噴火浅根付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

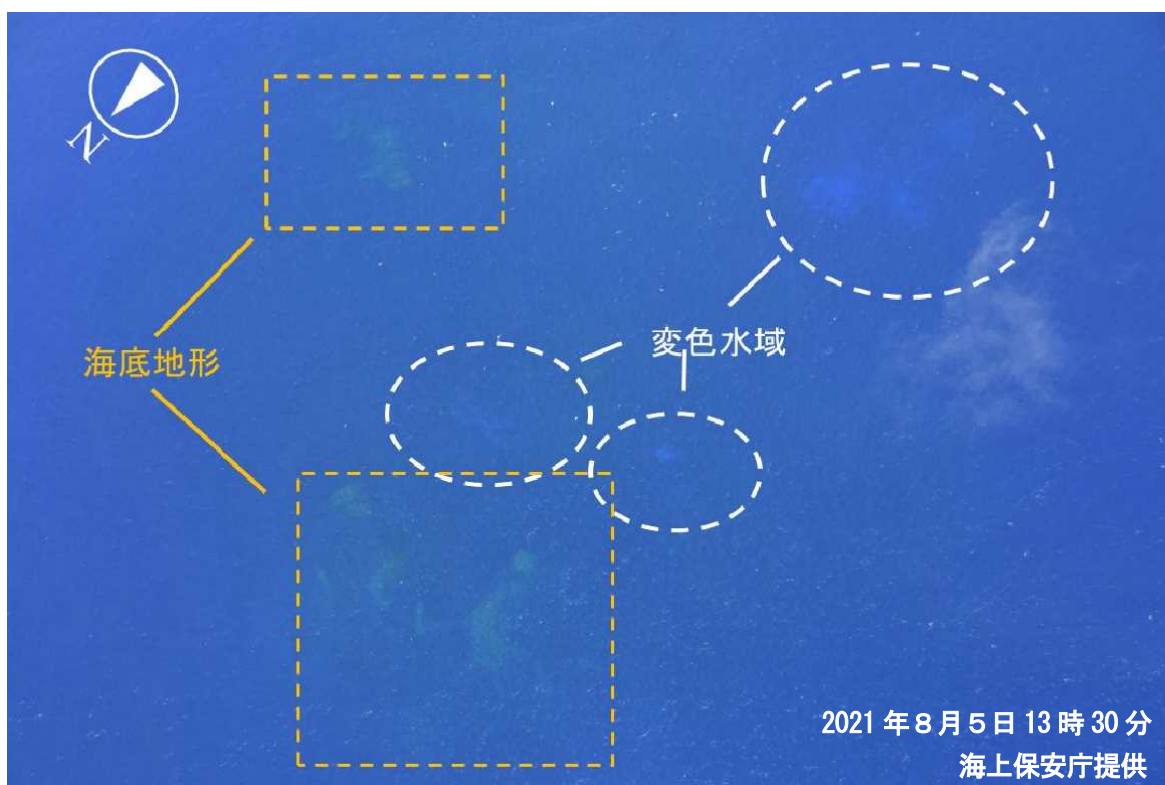


図1 噴火浅根 海上保安庁が実施した上空からの観測結果（8月5日）

- ・8月5日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、薄い青白色の変色水域が認められました。

この資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧できます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、海上自衛隊、海上保安庁及び第三管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。

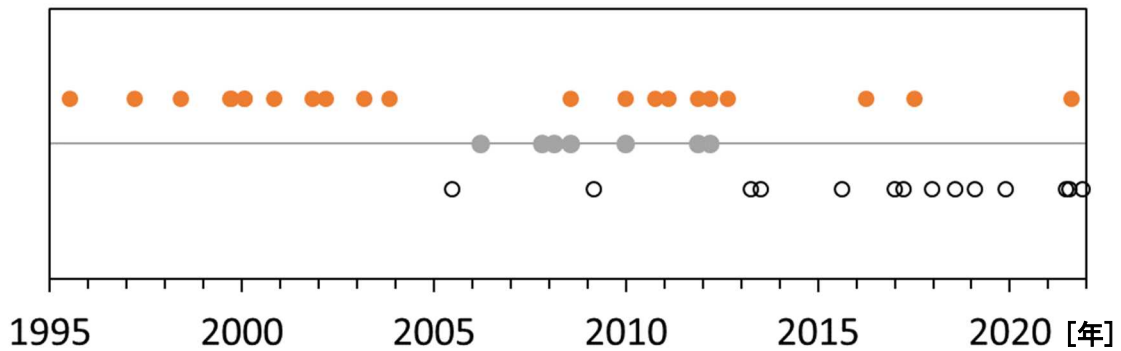


図2 噴火浅根 1995年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水域が認められた観測、●は気泡の湧出が認められた観測、○は変色水域が認められなかった観測を示します。海上保安庁及び海上自衛隊の観測による。

- ・噴火浅根付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。変色水域が確認されたのは2017年6月28日以来です。なお、1930年から1945年にかけては、1年に2～3回程度海底噴火が確認されていました。

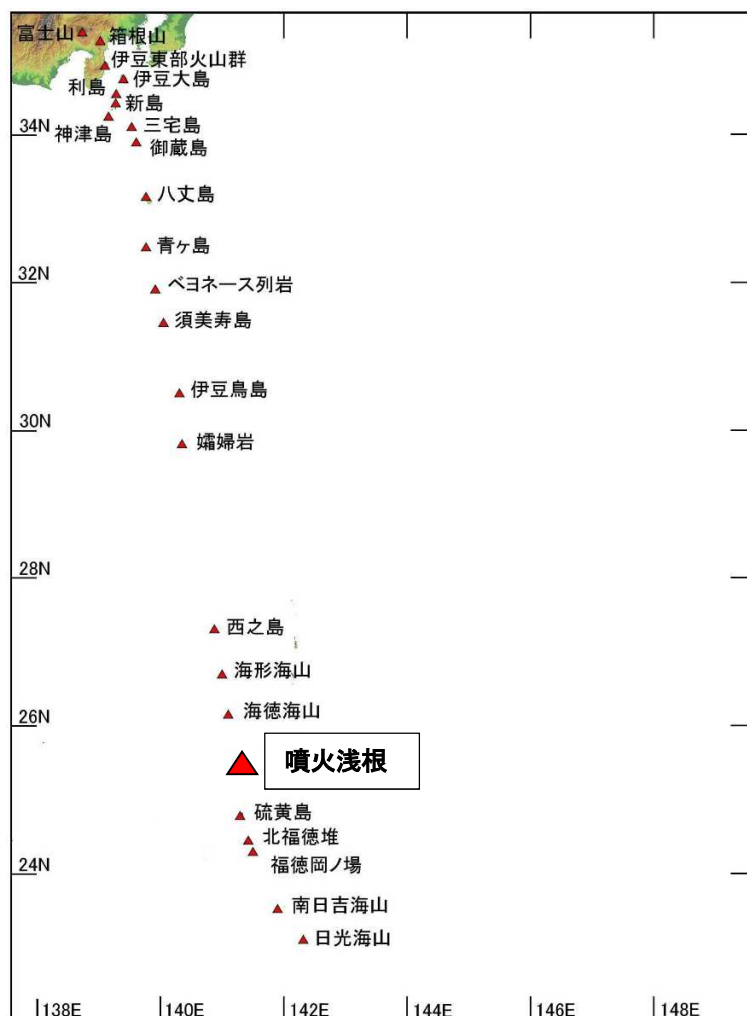


図3 噴火浅根 伊豆・小笠原諸島の活火山分布

地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。